

世界のデング熱流行状況(更新 41)

2010年11月1日 ProMED 情報

(1) アジア地方[Climate Signals]

世界保健機関(WHO)は、世界で 25 億人の人々がデング熱感染の危険にさらされていると警告を出しています。このうち 70%を占めるアジアでは主に気候変動による温度上昇、人口増加、および海外旅行の増加により、デング熱感染の増加がみられています。また、都市での蚊の増加は、これまで以上に多数の人々がデング熱ウイルスに接触することを可能にしています。8 月までの患者数が多かった国は、インドネシア(80,065 名) タイ(57,948 名) スリランカ(27,142 名)でした。

(2) ラオス[Marc Grandadam: パスツール研究所、医師]

ビエンチャン Vientiane では、デングウイルス 1 型が流行するようでしたが、デングウイルス 2 型とデングウイルス 3 型もラオスでは流行する可能性があります。WHO 地方事務局によると、2010 年は 10 月 16 日までに、患者 21,509 名(死亡患者 45 名、死亡率 0.21%)が報告されました。

(3) パキスタン(シンド Sindh 州)[Daily Times]

10 月 28 日の地方メディアによると、デング熱がシンド州で流行した後、カイバル・パクトウンクワ Khyber Pakhtunkhwa 州(北西国境地方)へ急速に広がり、少なくとも 27 名が死亡しました。パキスタン国立予防衛生研究所(NIH)によると、患者 1,170 名がパンジャブ Punjab 州で報告されました。

(4) メキシコ(タマウリパス Tamaulipas 州)[Metro Noticias]

タマウリパス州保健省は、かつてデング熱にかかったことがある人が再感染をおこしていることから、新たな血清型のデング熱ウイルスの存在に関して住民に警告を発しました。同州保健省はデングウイルス 1 型が以前より流行しており、すでに感染し免疫がある人についても、新しいウイルス型のデング熱に再び感染する可能性があるとして述べています。

(5) その他の国々

ベネズエラでは、10 月 9 日までに患者 99,178 名とデング出血熱患者 8,916 名が報告されました。昨年同期と比較して 160%の増加です。流行は 15 州で減少していますが、8 州では続いています。

ブラジル、サンパウロ Sao Paulo 州全体で感染が続いています。ミナス・ジェライス Minas Gerais 州ベロ・オリゾンテ Belo Horizonte では、患者 67,414 名が報告されました。マト・グロッソ Mato Grosso 州では、1 月 1 日～10 月 28 日までに死亡患者 62 名を含む患者 42,350 名が報告されました。死亡患者のうち 52 名が確定診断され、10 名が調査中です。

マルティニーク島では、今年 2 月下旬から患者約 41,700 名が報告され、そのうち 634 名が入院し、16 名が死亡しました。

グアドループ島では、昨年 12 月から疑い患者約 43,800 名が報告され、そのうち 5 名が死亡しました。

台湾では、患者 156 名のうち 139 名が台湾南部の高雄 Kaohsiung 市と台南 Tainan 市からでした。3 番目は台北市で限局的に発生しました。

インド、ウッタル・プラデーシュ Uttar Pradesh 州では、ラクナウ Lucknow 市でデング熱疑いで死亡した 1 名を含む死亡患者 4 名が報告され、州全体では死亡患者 61 名が報告されました。デリー-Delhi 市では患者 75 名が報告され、今年の患者数は 5,363 名となりました。